令和元年12月議会　一般質問

市有財産の有効活用について

泉　枚方市は「枚方市市有資産民間提案制度」という市の保有する資産の活用について、民間事業者や地域団体からのアイデアやノウハウ等を活かした提案の募集をしています。ネーミングライツでは、岡東中央公園が「ニッペパーク岡東中央」の愛称に決定など、７施設の契約を締結。市有資産の有効活用策では、施設用地１件の賃借が決定していますが、まだまだ工夫の余地はあるのではないでしょうか。来年度以降の取り組みは？

↑ニッペパーク岡東中央

無料で誰もが参加できるイベントならニッペパークを無料で借りれます！

《にぎわい空間創出事業》

枚方　にぎわい空間創出事業

答　制度自体が周知されていないことや、募集対象施設が企業の近くになく応募し難いなどのご意見をいただいています。来年度以降は募集期間を長くすることでさらなる周知に努め、対象施設の拡大に向けた協議を進めます。さらに、所有する土地の現状を整理、貸付期間などの課題を整理し、例えば、駐車場の運営事業者へ聞き取りを行うことにより対象資産の拡大を図るなど、事業者のニーズの把握にも努めてまいります。

泉の考え　市有財産の有効活用は利益を生む活用だけではありません。たとえば、何年も利用していない市有地を地域団体等と管理協定を結び、防災公園やプレイパーク、プランター農園など暫定利用していただくことで、市民にとっての利活用の機会や、維持管理経費の削減にも繋がります。短期的な暫定利用については、極端にいえば1日からでも、実験的、試験的に試みていただきたいと思います。市民がより活用したくなるような条件を模索していくべき、と意見させていただきました。

令和元年12月議会　一般質問

若手芸術支援事業について

泉　「枚方市アーティストバンク」への応募資格、音楽・舞踊分野、美術分野における若手芸術家への支援内容についてお聞きします。

↑工事中の枚方市総合文化芸術センター

答　応募資格は音楽・舞踊分野、18～40歳未満の枚方に縁があり、全国規模のコンクールでの受賞歴、それと同等の実績がある方です。音楽・舞踊分野の支援内容は、学校等へのアウトリーチ事業や市が主催する事業などへの出演を。美術分野の支援内容は展示スペースの無償提供や、広報ひらかた等を活用した情報発信など行なっていますが、対象となる若手芸術家を見出すことが難しい現状です。

泉の考え　枚方に縁のあるPOPSアーティストは多数います。後に続く若手POPSアーティストも含め、幅広いジャンルを支援できるような登録基準の検討と、行政単独で基準を作るのではなく、これまで芸能音楽の情報発信も行ってきたFM枚方との連携や民間との協働を要望しました。美術分野における若手芸術家の支援については、４月に行われる聖火ランナーイベントでも検討されているコミュニティアートなど、まちづくり活動に直接寄与する公共芸術のような、芸術家・市民・行政が一体となれる取り組みと、多くの若手美術家を見出す、アーティストバンクのような、やる気のある若者が自ら登録できる仕組み作りを行うよう提言いたしました。
より多くのアーティストを支援し、2021年度開館予定の総合文化芸術センターの盛り上げに協力していただけるよう期待しています。

その他の質問

▽地域防災力の向上 >>>　消防団員の７割がサラリーマンであり、日中市外におられる可能性。就職活動を支援する学生消防団活動認証制度を利用した学生団員、大規模災害団員や機能別団員など制度を活用することを要望。

Daisuke IZM PRESS

Vol.1

—枚方の希望を守る。—

声を力に。

One Osaka!

枚方市議会議員

泉大介（いずみだいすけ）

編集・発行人：泉大介
枚方市東香里元町16-34 ／ TEL. 050-3558-4919
発行：令和２年春
この議員報告は市政調査の目的で発行しています。

ごあいさつ

平成31年４月21日に投開票が行われた枚方市議会議員選挙において6,829票のご支持をいただき、３位で当選することができました。
将来世代にツケを残さないためにも、行財政改革を進め、皆様の声を力に枚方市のより良い未来を描けるよう、まい進してまいります。

枚方市議会議員　泉大介

＜会派＞ 大阪維新の会　枚方市議会議員団、総務常任委員会、都市計画審議会委員

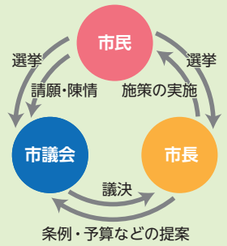
PROFILE

昭和57年生まれ。山之上幼、山之上小、村野中、府立西野田工業高校、大阪工業大学卒業。高校時代にはレーシングカヌー競技で３年連続国体出場。プロ歌手（DiceK名義）、維新政治塾４期生、おきのえらぶ島観光大使、（有）ラッププロモーション所属、大阪沖洲会青年部長。家族構成：妻、子、ミニピン。

@cnu3583d
DiceKizm
@izm_daisuke
izumidicek
QRコードからすべてのアカウントにアクセスできます。

枚方市議会議員の仕事について

枚方市議会では、年４回（3月、6月、9月、12月）に行われる議会で
▶**市のきまり（条例）を決める（議案審議）**
▶**市のお金をどう使うか決める（予算）**
▶**市のお金が正しく使われているのか？ 市の仕事が正しく行われているか？**
などの意見を言う（決算、一般質問）といったことを行なっています。また、市民からの要望（請願・陳情）や、市長、議員から提出された議案について話し合い、議決（多数決）を行なっています。もちろん、議会が行われていない時も、市民からの要望を聞いたり、市の仕事について意見を行なっています。



枚方市議会では、会議の様子をYouTubeでライブ配信・録画したり、過去の会議での発言（議事録）を見ることができます。　YouTube 公式チャンネル

泉大介が、この一年間に行なった質問内容を抜粋して報告させていただきます。　中面へ

ご意見・ご質問・市政相談はこちらまで！
050-3558-4919
info@izumi-daisuke.net
WEBもご覧ください。
https://www.izumi-daisuke.net

議会報告（要旨）

令和元年6月議会　一般質問

避難行動要支援者名簿の活用について

↑校区自主防災訓練（東香里小にて）

泉　避難行動が難しい高齢者や障がい者への対策として、災害対策基本法で作成を義務化された避難行動要支援者名簿を活用した地域住民による共助の取り組みが重要であると考えますが、大阪北部地震の際、13の校区自主防災組織への名簿提供ができていませんでした。その要因・対策と具体的な名簿の活用内容を伺います。

答　個人情報の管理からくる負担や、役員交代による引継ぎの問題など地域のざまざまな事情があるとお聞きしています。今後、名簿の必要性について十分な説明を行い、活用については、要支援宅の確認など取り組みを進めておられますので、今後は避難支援も含めた訓練の実施など支援してまいります。

泉　避難行動要支援者名簿の掲載者の中には、情報提供について不同意の方もかなり多くいらっしゃると聞いております。また、安否確認を速やかに行うためには、日常的に要支援者と関わっている介護事業者等も支援者として位置付けて、安否確認の体制を充実させてはどうでしょうか？

答　情報提供の不同意者に対する取り組みについては課題であり、さらなる周知が必要であると考えております。議員お示しの安否確認における多方面からの情報収集についても検討してまいります。

泉の考え　防災に対する考えや地域の取り組みを知らない方もいらっしゃいます。そして、知らないからこそ不安を感じるものです。不安を解消するためにも、より専門的な知見を持った学識者等にも協力いただき、研修やサポートなどに取り組んでいただくよう要望いたしました。

その他の質問

- ▽地域活動に対する支援について >>> 地域担当職員制度をもっと生かしてほしい。
- ▽中学校給食における取り組みについて >>> 実施手法の精査とともに優先順位の検討を。
- ▽業務の見直しについて >>> 業務フローチャートを庁内だけではなく、地域活動や市民活動にも。

令和元年9月議会　決算特別委員会

ペーパーレス会議システムについて

泉　ペーパーレス会議システムを導入した効果についてお伺いします。

答　利用実態調査では、4,500枚以上の印刷削減効果があった会議もあり、平均では一会議あたり380枚の紙及び印刷が削減されたとの報告を得ております。準備においては、会議資料の印刷時間が不要となったことや、統計資料や国の資料など、一部だけ抜粋、編集して会議資料として作成しなおすという手間も削減できます。会議資料の共有化が進んだことにより、一会議あたり、準備から会議後の対応まで含めると約1時間の削減効果がございます。

泉の考え　ペーパレス会議システムは、災害時にも非常に効果的です。熊本地震の際、災害対策本部会議は当初、紙ベースの会議を行なっていたため、資料印刷に多くの業務時間を費やしていたそうです。しかし、発災２ヶ月後からペーパーレス会議を導入、職員は資料印刷に囚われる時間から解放されたそうです。今後も、日常業務を改善しつつ、万一の事態への、備えともなる取り組みを行なっていただくことを要望いたしました。

令和元年9月議会　決算特別委員会

FMコミュニティ放送委託料について

泉　「ＦＭコミュニティ放送委託料」5,100万円についてお伺いします。ＦＭひらかたへの放送委託料には、災害時の緊急情報の発信についても含まれているということですが、FMひらかたを聴いている方のうち、災害情報を流していることを知っている市民は4.9%でした。市の災害対策本部と連携しながら情報収集や発信以外にも、独立したメディアとして情報発信ができるのではと思いますが、例えばボランティアのサポーターによる独自での情報収集なども実施されたのでしょうか。

答　市の災害対策本部からの情報をはじめ、ＦＭひらかたが独自に民間企業と契約し、交通情報や気象情報を随時放送しました。また、ＦＭひらかたが策定した第２期経営戦略プログラムのアクションプランでは、独自の確かな情報収集手段を確保するため、パーソナリティやリスナーなどによる情報網制度の確立を掲げており、2019年９月から制度の運用を開始しました。

泉の考え　市民に災害時の情報ツールであると、ほとんど認知すらされてない、という状況はいかがなものかと思います。そして今年の９月から情報網制度の運用を始めたというのは、これまで災害時のための情報ネットワークを築いていなかったということです。あるコミュニティＦＭ局では、災害後、放送を聞いた市民や企業が、頑張っている地域ＦＭ放送局を応援したいということで、サポーターやスポンサーの数が増えた、という話を聞いたことがあります。日頃から市民との信頼関係を築き上げてきた結果でしょう。小手先だけのリスナー獲得ではなく、真に枚方市民に必要とされることを、切に願います。と意見させていただきました。

インターネットから「FMひらかた」を聴くことが出来ます！

FMひらかた サイマル放送ページ　https://jpradio.jp/kiku-fm/

令和元年9月議会　決算特別委員会

- ▽協働のまちづくり推進事業について >>> 地域担当職員も地区防災計画の策定支援に一役。
- ▽ストレスチェック委託料について >>> 予防、相談しやすい体制、復帰支援の充実を。
- ▽地域活性化支援センター経費及びテイクオフ補助金について >>> 事業の実績をもっとPR。
- ▽人権まちづくり協会経費について >>> 市の事業と類似性のある事業は調整・分担を。
- ▽駐車場用地借上料について >>> 市役所周辺の借地をどのように取り扱っていくのか検討を。
- ▽野外活動センター管理運営経費について >>> 民間活力を利用した施設管理を。
- ▽ホームページ経費について >>> サーバー強化以外にも、災害情報の発信時の工夫も。
- ▽街かどデイハウス事業補助金について >>> 類似事業もあるので、新たな役割を担ってほしい。
- ▽大型太陽光発電事業経費について >>> 環境教育、環境学習にしっかり活用を。
- ▽子育て情報アプリ事業費について >>> 内容充実にあたっては業者が集約している情報も必要。
- ▽総合福祉会館管理運営経費について >>> 利用率の低さを指摘。
- ▽医療費適正化特別対策事業経費について >>> 診療報酬不正請求を防ぐ点検強化を期待。